

### 第3回田原市中心市街地活性化協議会

#### 議事録

日 時：平成27年2月25日（水）

午後4時～午後5時15分

場 所：田原市役所 政策会議室

出席者：河合利則（田原市商工会）安田幸雄（株式会社あつまるタウン田原）

石本健一（渥美商工会）杉山礼子（田原市商工会）富田宗邦（田原青年会議所）

大久保寛（萱町自治会）中嶋信夫（豊橋鉄道株式会社）太田次男（田原市）

小川金一（田原市）

オブザーバー：元木茂（中小企業基盤整備機構）小口英二（中小企業基盤整備機構）

杉谷第士郎（中心市街地活性化アドバイザー）

事務局：杉浦拓（田原市商工会）杉原実善（田原市商工会）

鶴飼直行（田原市）柴田高宏（田原市）折戸裕美（田原市）

丸山尚孝（株式会社あつまるタウン田原）藤城美幸（株式会社あつまるタウン田原）

#### ◆開会のことば

司会者 杉浦拓

#### ◆田原市中心市街地活性化協議会会長挨拶

田原市商工会長より挨拶

#### ◆挨拶

田原市都市建設部 部長 太田次男

#### ◆出席者の紹介

一般社団法人田原青年会議所 理事長富田宗邦氏理事長交代のため就任の挨拶

#### ◆議事録署名者の指名

杉山玲子（田原市商工会女性部）

富田宗邦（一社田原青年会議所）

#### ◆議事

##### 1、フタムラ化学工場跡地活用の事業者募集について

- ・田原市柴田課長より募集見送りのお詫び・事業者への事前告知、意向調査の結果報告
- 事業者への意向調査アンケートについては80社中25社回答があり事業検討は5社
- ・事業者への事前告知・意向調査の結果、田原中心市街地ビジョンに沿った事業者の応募が見込め

ないため田原市として再度検討しよりビジョンにあった整備を進めるため

- ・今後の進め方については、現在検討中

元木：提言を示したアンケートを具体的に説明し公募をするべき。

杉谷：ユニーはデベロッパーの側面あり、一步踏み込んだ提案ができる。積水ハウスは条件を整えば住居棟として対応可能な企業である。

中嶋：非公式での情報の中での動きである。

安田：時間的に余裕はない。現在、4店舗のスーパーが住み分けているため、差別化が必要である。公共性を含め、長期的視野に立つ。

小川：長期的なビジョンに関して、どのタイミングで地域の活性化に結び付けるか、福利厚生も含め考えていく。

河合：今のまま無理に進めることはできない。進め方を含め当局に案を出してもらおう

## 2、中心市街地活性化基本計画の進捗状況について

田原市折戸：

- ・中心市街地活性化基本計画ゾーニング図 修正箇所の説明 3か所

- ① 東西の横軸（中心軸）
- ② 晩田交差点までをまちなか賑わい再生エリアとする
- ③ 福祉エリア（福祉センター・デイサービス）沿道賑わいエリアの追加  
変更の可能性あり

安田：まちなか賑わい再生エリアの中心軸（東西）北がわのエリア（豊信跡地・柳町駐車場）を賑わい再生エリアにできる余力が田原市にあるか。福祉文化エリアの方が分かり易いのではないか。今後大切な土地となるため、早急に検討が必要。

河合：まちなか賑わい再生エリアについては、商業ゾーンから住居ゾーンになりつつある。

再生エリアは、空き家・空地が多いが、再生エリアとするのか。賑わいエリアとしての意味合いが必要ではないか。

都市計画では、中心軸（東西）は数少ない商業ゾーンである。

再生エリアのイメージ・意味が分かりづらい。賑わいエリアと同じ意味なら揃えた方が良いではないか。

安田：住民より空き家が多いが、今後についての問い合わせもある為、早急にタウンマネージャー・商工会も含め検討が必要ではないか。

折戸：賑わいエリアについては、ソフト事業も現在行っており、創出可能なエリアである。基本計画5年間のゾーニング、ビジョンは20年後となり、これがイコールとなる。今後、検討していく。

進捗状況について

・ 中心市街地活性化基本計画認定申請マニュアル（平成26年度版抜粋）

参考資料：内閣府マニュアルの抜粋

・ 田原市中心市街地活性化基本計画について

- ・ 現在策定途中であり、内容精査していないため変更有り。各省庁・国との調整により増減する。
- ・ 資料についての内容説明・補足
- ・ 第4~8章は再度確認下さい。
- ・ 商工会、榎あつまるタウン田原で現在行われている事業・5年以内に行う事業も入れ込んでいきたい。協議会の意見も合わせ3月中旬までにほしい。
- ・ 事業ラインナップが出た段階で総務省との事前調整が必要（計画提出前に）。内閣府は認定のみ、窓口は事業別に担当省庁と調整をおこなう。

大久保：商業者に基本計画を提示、土地を売却したらどうか。

河合：商業者が減っている。その中でこういった仕掛けをするかが協議会に必要。

大久保：住居の提供（特に若い人）子育てが出来るように。

協議会メンバーへ新町町内会からも選出願いたい。フタムラ跡地は新町も含むため。

河合：田原市は、商業地域が少なすぎるため、商業地区への居住区は慎重に。居住にポイントを置きすぎると、賑わいや活性化には繋がらない。公共交通の利便性との組み合わせが必要。豊橋市の駅前マンションは、街なかの賑わいに繋がらなかった。

安田：老若をうまく循環できる居住提供の仕組み作りが必要。

富田：街なかに住む人・集まる人が求めるもの 提言と企業とのギャップをどれだけ無くすか。

太田：募集提案に関しては、意向調査アンケートで回答のあった25社へ細かなヒアリングを行い、条件設定及び方向、構想を決めていく。

維持継続が必要であり、市民の望むものを。身の丈に合ったものを発信していきたい。

河合：時間と内容 時間軸を含めお願いしたい。

◆次回開催日

- ・6月ごろ予定（基本計画の素案がまとまった段階で開催）

議事録署名人： 構成員 杉山 礼子 ⑩

議事録署名人： 構成員 富田 宗邦 ⑩